

## 平成 26 年 2 月 1 日（土）信州大学東京同窓会 講演会

### 講師 青木歳幸氏 佐賀大学地域学歴史文化研究センター教授

1948 年（昭和 23 年）長野県松本市生まれ、  
1971 年（昭和 46 年）信州大学人文学部卒  
佐賀大学教授、同地域学歴史文化研究センター長、  
日本医史学会代議員  
洋学史学会会長、博士（歴史学）

### 演題 「幕末から明治期の信濃の医学」

江戸時代において信濃各地に医師が輩出していたこと、幕末期に西洋医学が松本平にも入り、蘭方医による種痘を通じて西洋医学の有用性が知られるようになったこと、明治期において筑摩県医鬘兼病院のなりたちと医師には松本地方の医師も多くいたことなどを紹介し、それから信州大学医学部への流れも紹介する。

### 青木教授の主な編著書

- ・在村蘭学の研究（1998 年 思文閣）
- ・江戸時代の医学～名医たちの 300 年（2012 年 吉川弘文館）
- ・上田藩 《シリーズ藩物語》（2011 年 現代書館）
- ・長野県の歴史 《県史 20》（2010 年 山川出版）（共著）
- ・地域蘭学の総合的研究（2004 年、国立歴史民俗博物館）（編著）
- ・日本医療史（2006 年、吉川弘文館）（共著）
- ・長野県史通史編 《近世》V、VI、VII（1986、87、88 年、長野県）（共著）
- ・ほかに医学・蘭学・文化史関係論文多数。
- ・また、25 年 4 月から信濃毎日新聞美術欄に「絵画工芸にみる蘭学と信濃」（26 年 3 月まで）をコラム執筆中。